

臨床研究協力をお願い

研究名 アーティファクト低減アルゴリズムを利用した人工金属物挿入患者における術野領域 CT 画像最適化の研究

対象 椎体固定術、人工関節置換術、除細動器留置術、血管内金属コイル塞栓術を過去に施行された方で 2013 年 8 月から 2014 年 11 月において当院で経過観察の腹部 CT を受けられた患者様。

目的・概要 CT 装置の発展はめざましく、それに伴い被曝低減、画質改善の様々な手段が講じられ良好な CT 画像が得られるようになっていきます。しかしながら、CT で使用される X 線は金属を透過しにくく、体内に金属が入っているとその金属部分を中心に CT 画像は劣化し、読影できない画質となることが多くあります。術野を詳細に評価できることは術後管理の上で極めて重要です。我々は、以前より CT 検査の画質改善に関する研究を進めてきました。今回、新たな CT 画像の作成方法（再構成方法）を研究することにより、人工物（金属物）挿入部周囲の画質改善を目指したいと考えています。

方法 対象の方の、CT 画像データを利用して研究・評価を行います。本研究で使用するデータは、上記のごとく経過観察目的で当院にて CT 撮影されたものです。

効果 人工物（金属物）挿入部周囲の CT 画質改善に貢献します。

副作用・危険性・不利益等

追加検査は行いませんので、この研究による身体への不利益はありません。

個人情報の保護

個人情報は、匿名化を行い、個人を特定できないようにして使用します。

研究目的以外では使用しません。

同意及び撤回 研究協力を辞退されたい方やご質問のある方はご連絡下さい。

費用（医療費）追加の医療費は発生しません。

連絡先・問い合わせ先

滋賀医科大学放射線科 研究代表者 園田明永

Tel 077-548-2536 Fax 077-544-0986

E-mail 258 月 akinaga@belle.shiga-med.ac.jp